

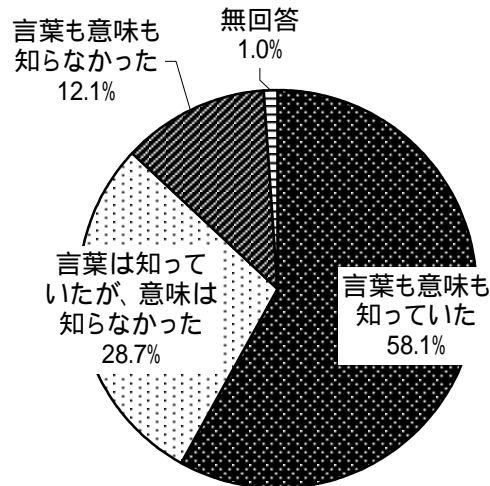
テーマ2 食育について

「食育」に対する認知度

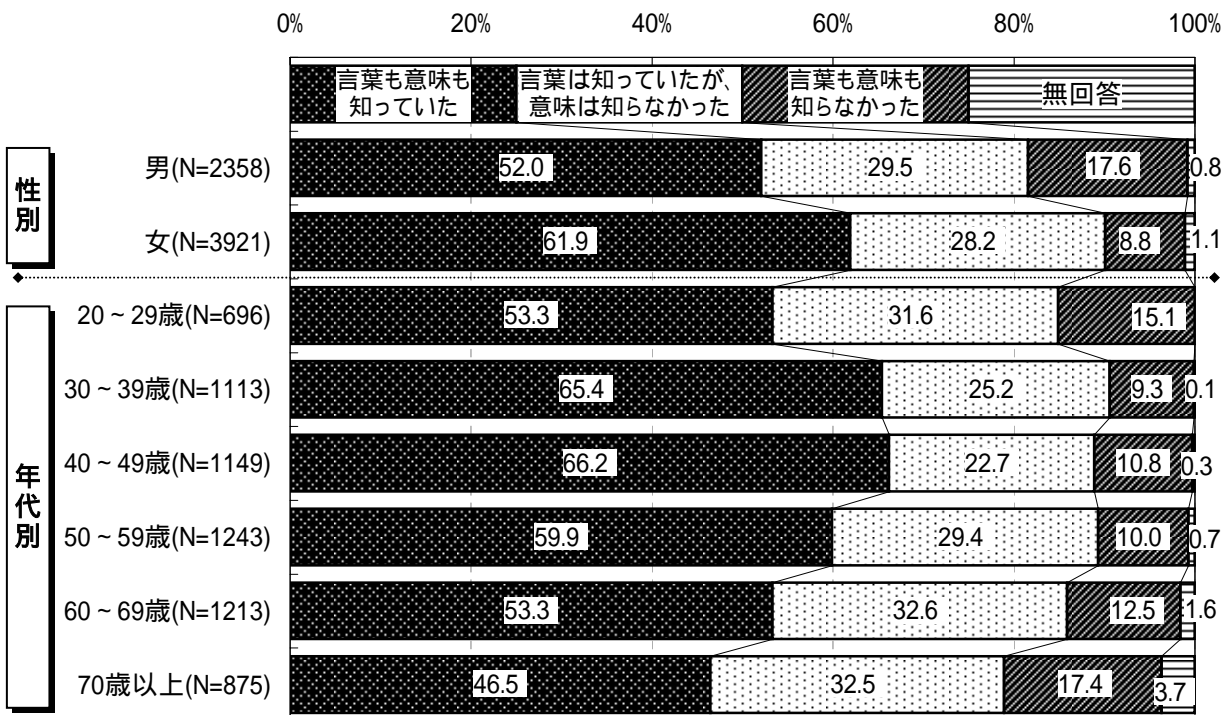
問7.あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。

・「食育」に対する認知度は、「言葉も意味も知っていた」が58.1%で全体の5割を超える。

全体(N=6303)



【対象者全体】 「食育」に対する認知度をみると、「言葉も意味も知っていた」(58.1%)が最も多く5割を占める。また「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(28.7%)を合わせた「言葉認知計」は86.8%で全体の8割を超える。



【性別】 性別でみると、男性層で「言葉も意味も知っていた」(52.0%)のスコアが、対象者全体と比較し6.1ポイント低くなるのに対し、「言葉も意味も知らなかった」(17.6%)では5.5ポイント高くなっている。

【年代別】 年代別にみると、「言葉も意味も知っていた」のスコアが、対象者全体と比較し、30代層(65.4%)で7.3ポイント、40代層(66.2%)で8.1ポイント高くなるのに対し、70歳以上層(46.5%)では11.6ポイント低くなっている。

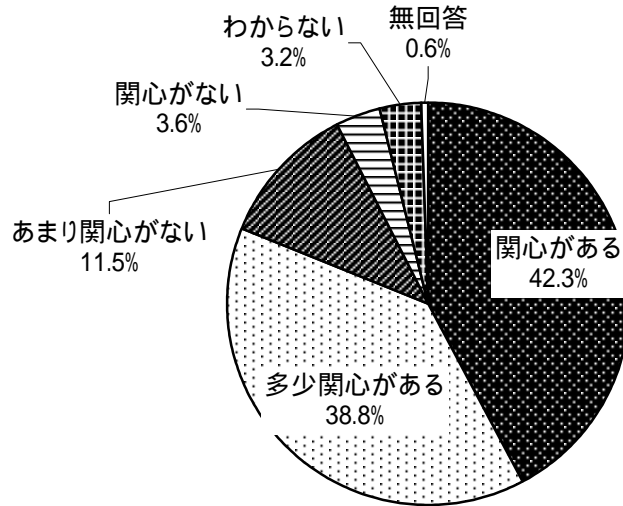
テーマ2 食育について

「食育」に対する関心

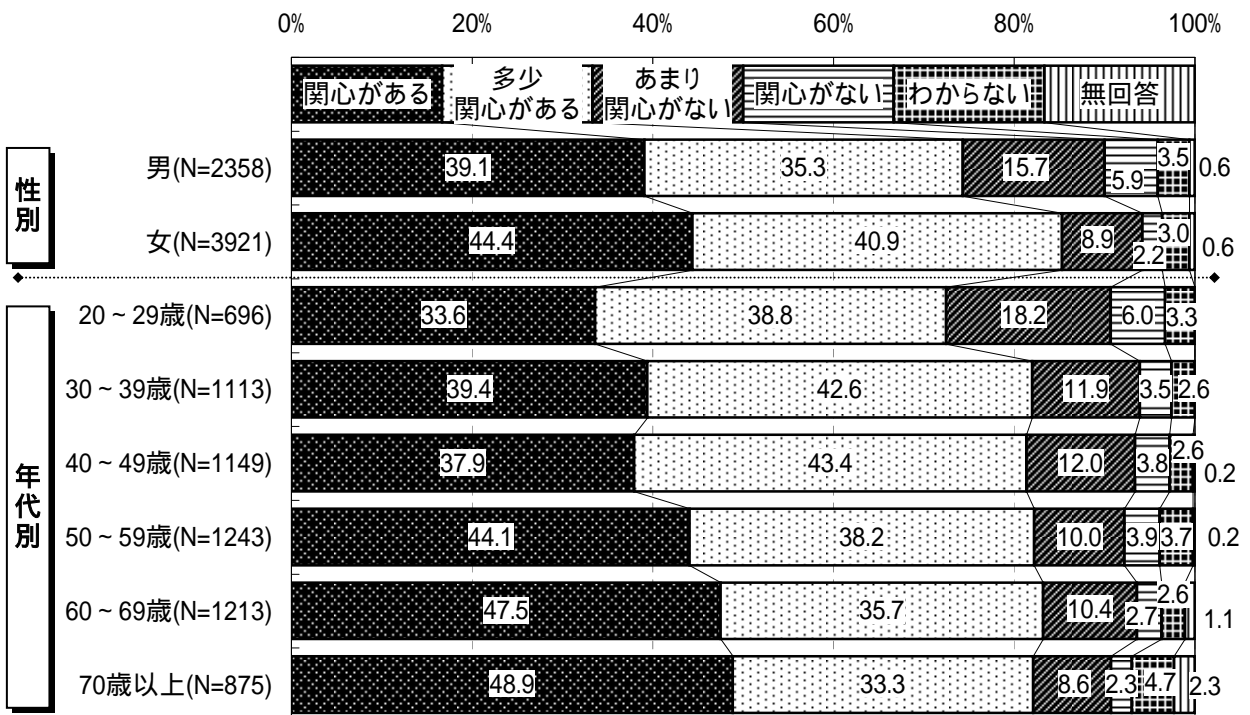
問8.あなたは、「食育」に関心がありますか。

・「食育」に対して「関心がある」（関心がある+多少関心がある）は、81.1%で全体の8割を超える。

全体(N=6303)



【対象者全体】 「食育」に対する関心をみると、「関心がある」(42.3%)と「多少関心がある」(38.3%)を合わせた「関心あり計」は81.1%で、全体の8割を超える。



【性別】 性別でみると、男性層で「関心あり計」(74.4%)のスコアが、対象者全体と比較し6.7ポイント低くなるのに対し、「関心なし計」(21.6%)では6.5ポイント高くなっている。

【年代別】 年代別にみると、20代層で「関心あり計」(72.4%)のスコアが、対象者全体と比較し8.7ポイント低いのに対し、「関心なし計」(24.2%)では9.1ポイント高くなっている。

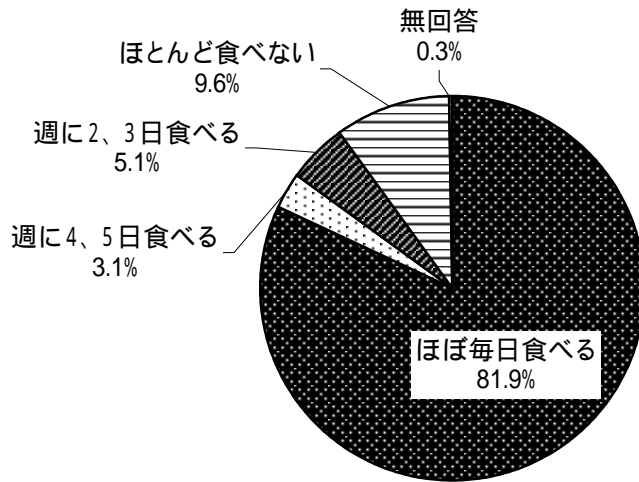
テーマ2 食育について

朝食の摂取について

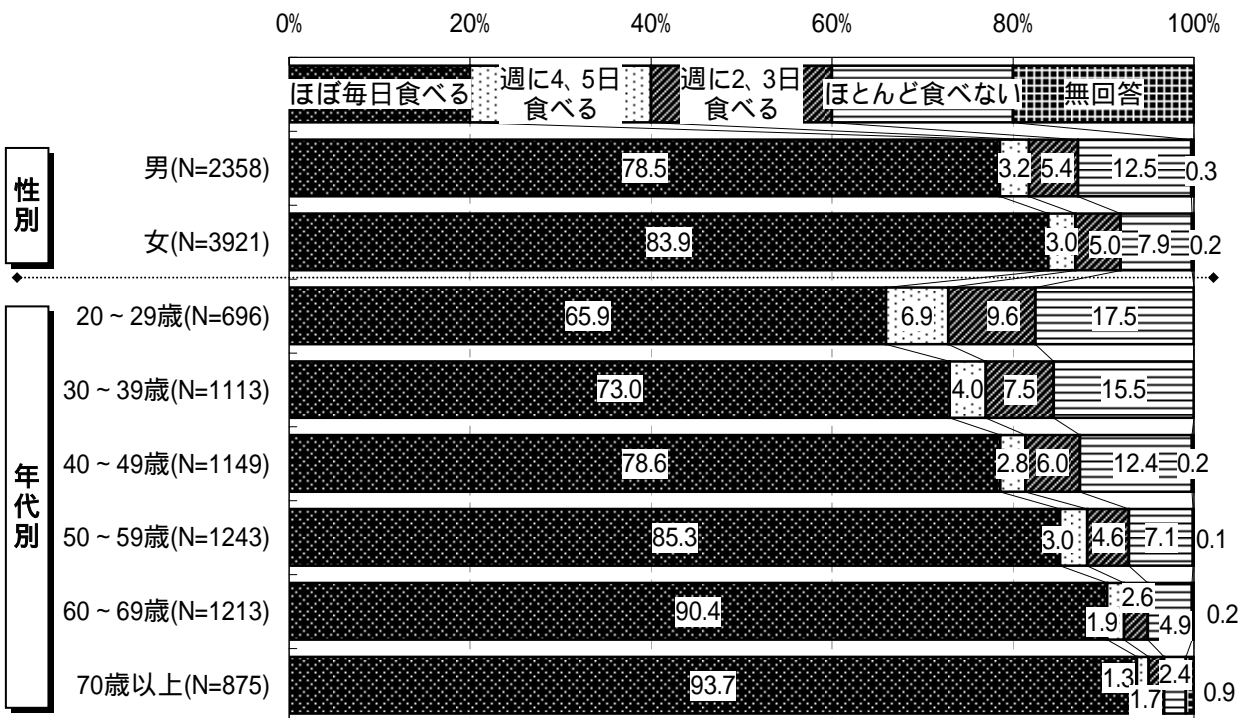
問9.あなたは、朝食を食べますか。

・朝食の摂取については、「ほぼ毎日食べる」(81.9%)が全体の8割を占める。

全体(N=6303)



【対象者全体】 朝食の摂取についてをみると、「ほぼ毎日食べる」(81.9%)が最も多く、反対に「ほとんど食べない」(9.6%)は全体の1割程度となっている。



【性別】 性別で、大きな差はみられない。

【年代別】 年代別にみると、若年層ほど「ほぼ毎日食べる」のスコアが低くなり、20代層では「ほとんど食べない」が17.5%となっている。

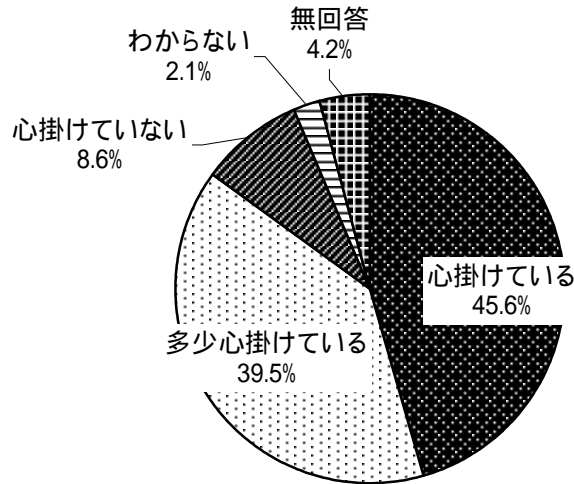
テーマ2 食育について

日頃健全な食生活を心掛けているか

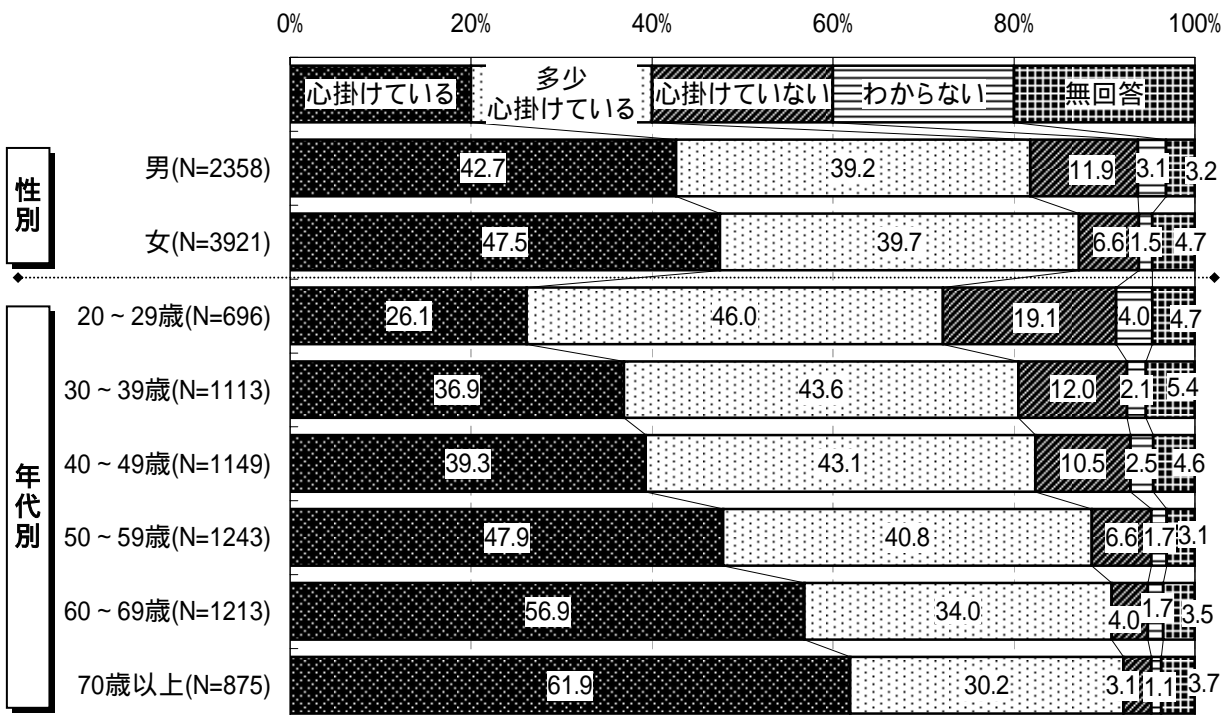
問10.あなたは、日頃、健全な食生活を心掛けていますか。

・日頃健全な食生活を”心掛けている”(心掛けている + 多少心掛けている)は、85.1%で全体の8割を超える。

全体(N=6303)



【対象者全体】 日頃健全な食生活を心掛けているかをみると、「心掛けている」(45.6%)と「多少心掛けている」(39.5%)を合わせた「心掛けている計」は85.1%で全体の8割を超える。



【性別】 性別で、大きな差はみられない。

【年代別】 年代別にみると、高齢層ほど「心掛けている計」のスコアが高くなる傾向。また20代層で「心掛けていない」のスコアが対象者全体と比較し10ポイント以上高くなっている。

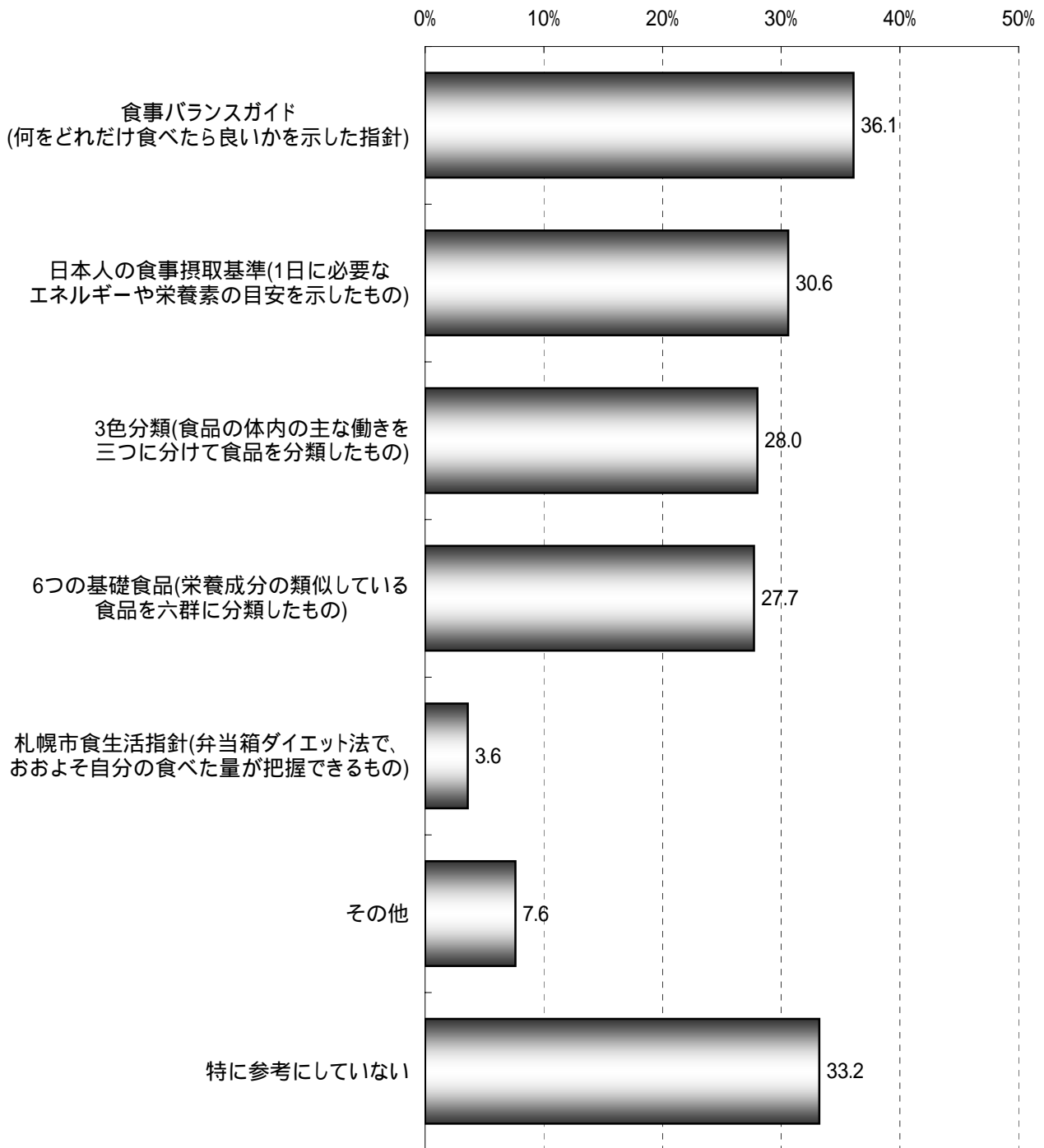
テーマ2 食育について

健全な食生活実践のために参考にしていること

問10で、「1 心掛けている」「2 多少心掛けている」と答えた方にお聞きます
問10-1.日頃の健全な食生活を実践するために、どのような指針を参考にしていますか。あてはまるものを3つまでつけてください。

・健全な食生活実践のために参考にしていることは、**食事バランスガイド** (36.1%)が最も多い。

全体(N=5363)



【対象者全体】 健全な食生活実践のために参考にしていることをみると、「食事バランスガイド(何をどれだけ食べたら良いかを示した指針)」(36.1%)が最も高く、次いで「日本人の食事摂取基準(1日に必要なエネルギーや栄養素の目安を示したもの)」(30.6%)と続く。また「特に参考にしていない」(33.2%)も、3割を超える高いスコアとなっている。

		対象者数	たれ指針)	食事バランスガイド(何をどれだけ食べたら良いかを示した指針)	の目安を示したもの)	日本人の食事摂取基準(1日に必要なエネルギーや栄養素)	類したものを)	働きの三つに分けて食品を分類したもの)	3色分類(食品の体内の主な働きを三つに分けて食品を分類したもの)	類似している食品を六群に分類したもの)	6つの基礎食品(栄養成分の類似している食品を六群に分類したもの)	量が把握できるもの)	札幌市食生活指針(弁当箱タイプ)法で、おおよそ自分の食べる量が把握できるもの)	その他	特に参考にしていない
		(%)													
対象者全体		5,363	36.1	30.6	28.0	27.7	3.6	7.6	33.2						
性別	男性	1,930	35.4	31.0	21.2	20.6	4.1	8.7	38.7						
	女性	3,418	36.5	30.4	32.0	31.7	3.3	7.0	30.0						
年代別	20歳～29歳	502	21.3	24.5	19.1	23.9	3.8	5.8	46.4						
	30歳～39歳	896	24.7	24.4	25.7	23.5	1.6	8.0	40.5						
	40歳～49歳	946	28.1	26.1	26.2	23.7	2.7	8.5	39.6						
	50歳～59歳	1,102	39.5	30.5	30.1	33.6	2.7	8.8	27.9						
	60歳～69歳	1,102	45.4	35.4	32.0	32.3	5.0	6.9	27.4						
	70歳以上	806	50.2	40.2	30.4	24.9	6.1	6.7	24.2						

対象者全体の値と比較し10%以上高い
 対象者全体の値と比較し10%以上低い

【性別】 性別で見ると、男性層で「3色分類(食品の体内の主な働きを三つに分けて食品を分類したもの)」(21.2%)、「6つの基礎食品(栄養成分の類似している食品を六群に分類したもの)」(20.6%)のスコアが、対象者全体と比較し7ポイント前後低くなり、女性層と比較すると10ポイント以上低くなっている。

【年代別】 年代別にみると、高齢層ほど「食事バランスガイド(何をどれだけ食べたら良いかを示した指針)」のスコアが高くなる傾向となっている。対象者全体と比較しても70歳以上層(50.2%)で10ポイント程度高くなっている。また若年層ほど「特に参考にしていない」のスコアが高くなる傾向にあり、20代層では46.4%となっている。

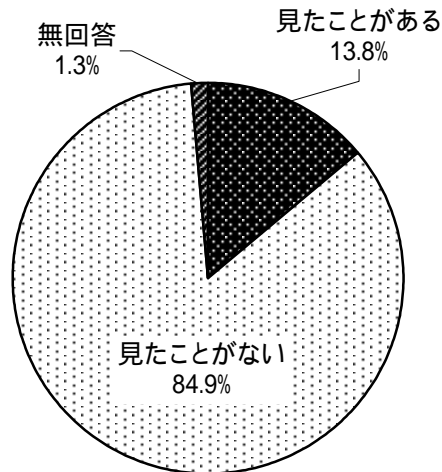
テーマ2 食育について

「食事バランスガイド」広告の認知度

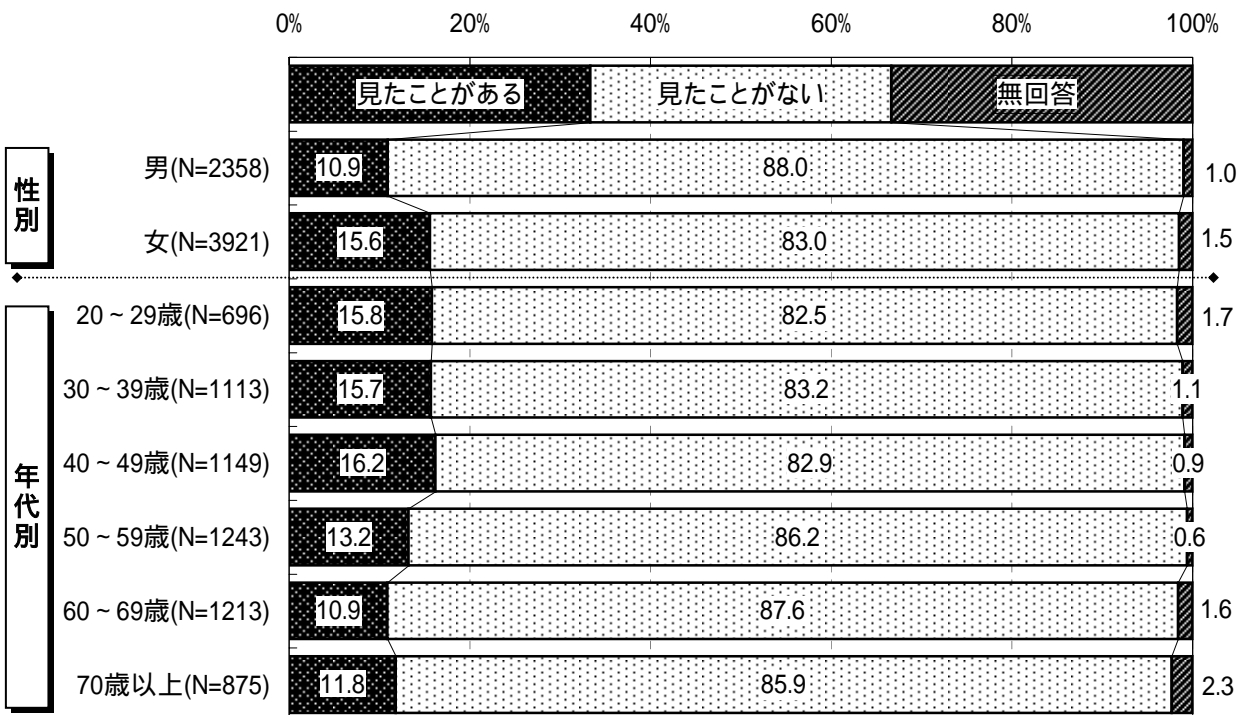
問11.今年、コマの形をした「食事バランスガイド」が、地下鉄東豊線(8月)やJRバス(8~12月)の外観に、表示(ラッピング広告)されていましたが、ご覧になりましたか。

・「食事バランスガイド」広告の認知度は、「見たことがある」(13.8%)が全体の1割程度。

全体(N=6303)



【対象者全体】 「食事バランスガイド」広告の認知度をみると、「見たことがある」(13.8%)が全体の1割半ば。逆に「見たことがない」(84.9%)は、8割を超える。



【性別】 性別で、大きな差はみられない。

【年代別】 年代別で、大きな差はみられない。

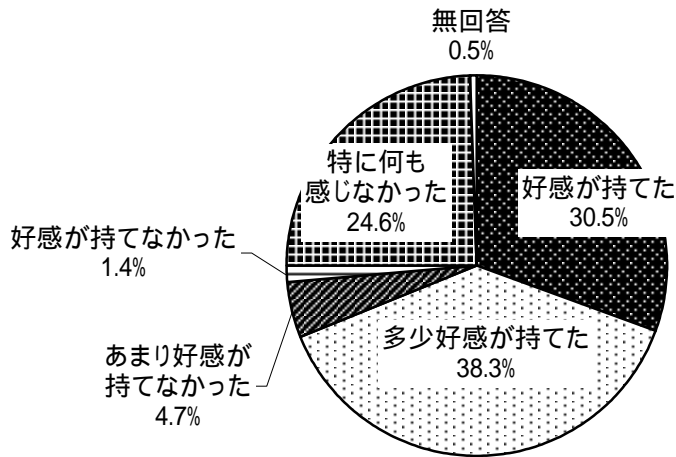
テーマ2 食育について

「食事バランスガイド」広告の好感度

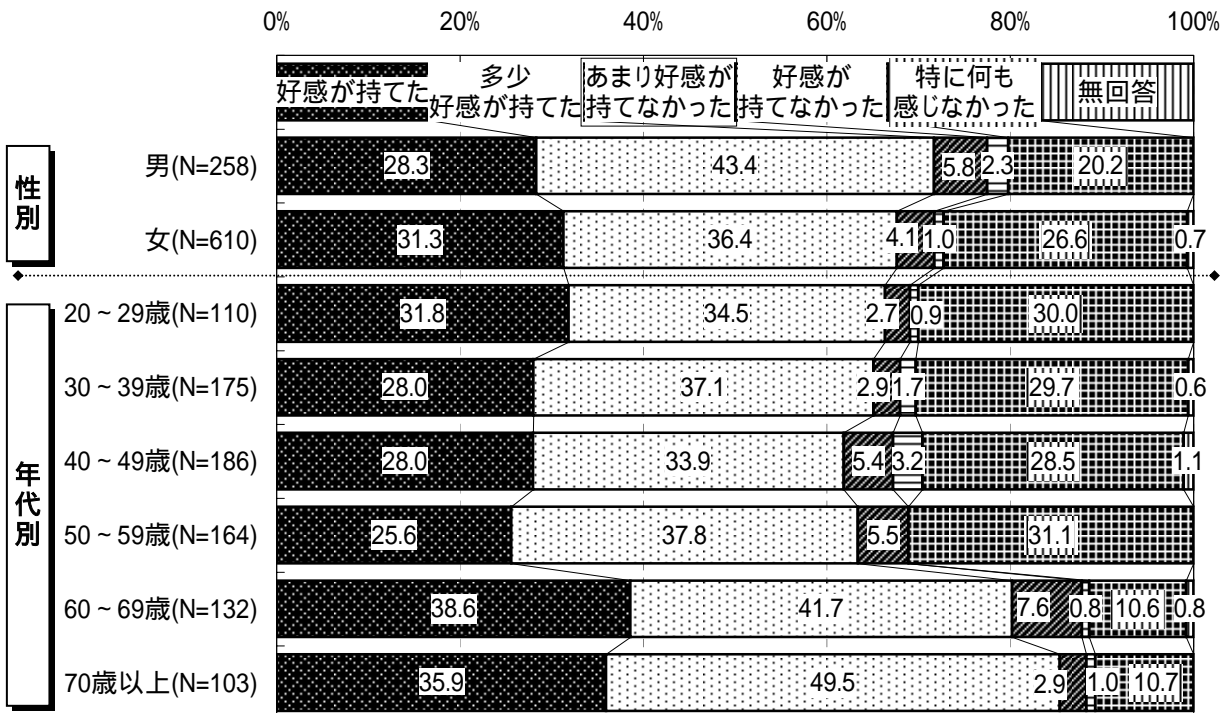
問11で、「1 見たことがある」と答えた方にお聞きします
問11-1. 広告内容は、好感が持てましたか。

・「食事バランスガイド」広告は、「好感が持てた」(好感が持てた + 多少好感が持てた)が、68.8%と全体の7割程度。

全体(N=871)



【対象者全体】 「食事バランスガイド」広告の好感度をみると、「好感が持てた」(30.5%)と「多少好感が持てた」(38.3%)を合わせた「好感が持てた計」は68.8%で、全体の7割程度となっている。



【性別】 性別でみると、男性層で「多少好感が持てた」(43.4%)のスコアが、対象者全体と比較して5.1ポイント高くなっている。また「特に何も感じなかった」で女性層(26.6%)のスコアが男性層(20.2%)に比べ6ポイント程度高くなっている。

【年代別】 年代別にみると、60代層・70代以上の層で「好感が持てた計」のスコアが、対象者全体と比較し10ポイント以上高いのが特徴的である。

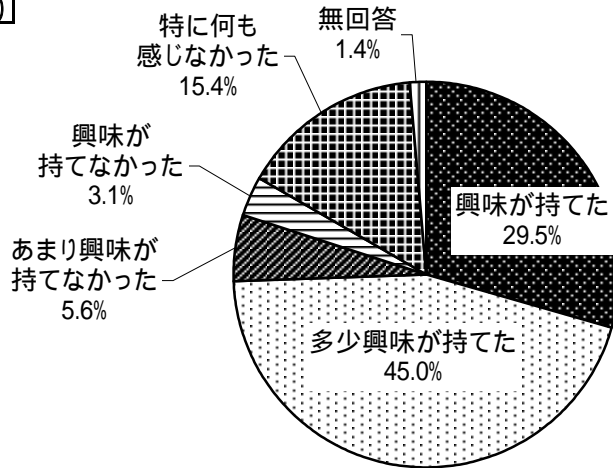
テーマ2 食育について

「食事バランスガイド」広告の興味度

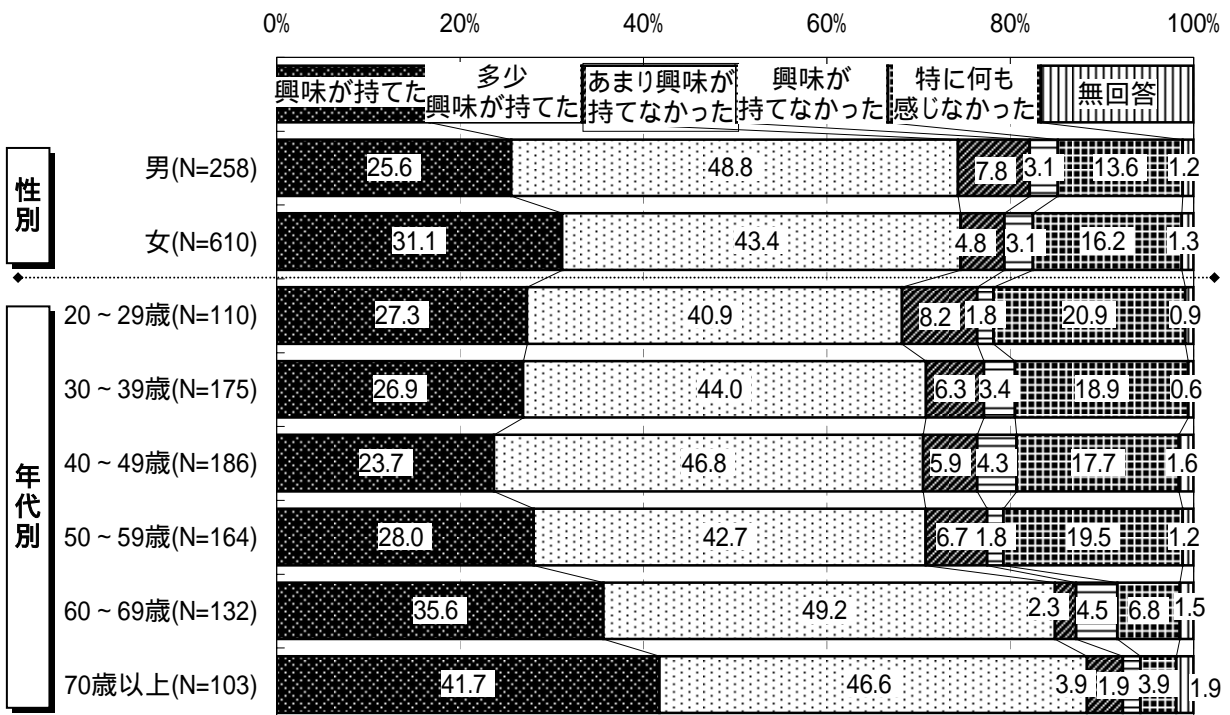
問11で、「1 見たことがある」と答えた方にお聞きします
問11-2. 広告を見て、食事バランスガイドに興味がありましたか。

・「食事バランスガイド」広告は、「興味を持てた」(興味を持てた + 多少興味を持てた)が、74.5%で全体の7割を超える。

全体(N=871)



【対象者全体】 「食事バランスガイド」広告の興味度をみると、「興味を持てた」(29.5%)と「多少興味を持てた」(45.0%)を合わせた「興味を持てた計」は74.5%と全体の7割を超える。



【性別】 性別で、大きな差はみられない。

【年代別】 年代別にみると、60代層・70代以上の層で「興味を持てた計」のスコアが、対象者全体と比較し10ポイント以上高いのが特徴的である。